2022年度活動概要　　自律学習研究会

自律学習研究会については、東北支部企画の JACET 年次大会で、「明日の学習者、明日の教師：英語教育における学習者と教師の自律的成長」という大会テーマを実質的に支える研究会として誕生して以来、約 10 年が経過している。毎年の国際大会で、大会テーマとのリンクを意識したシンポジウム等を企画し、共同研究発表を継続してきた。本年度の 61 回 JACET 国際大会でも、「授業内外での学習者・教師の自律的成長」をテーマに 4 つの研究発表を行い、フロアからも活発な意見が寄せられた。

また、今年度は３回のオンライン研究懇談会として、６月小林潤子先生、ヤグノ・ライク先生、１０月渋谷一明先生、中村詩のぶ先生に研究発表、また日頃の授業実践から得た知見の共有をおこなった。３月には、津田ひろみ先生にご自身の著書である「Critical Reading through Collaborative Learning」について、その理論的背景、実践についてご講演いただいた。研究懇談会はリラックスした雰囲気の中、お互いの研究分野、実践経験をもとに、学習者の自律、教師の自律について意見交換された。特に今年度は、新しく研究会に参加された先生方が 4 名おり、この研究懇談会において互いの研究分野について議論を深められ、実践共同体としての自律学習研究会の新たなる成長の可能性が感じられた。

「自律」が世界的なキー・コンピテンシーであることがようやく日本でも理解され、多くの教育関係者がその重要性を認識し始めた。本研究会としては、時代の求める自律学習のあり方を探究しながら、今後とも研究会としての活動を発展させていきたい。